

ラオスから広がるわたしたちの世界

所属	名古屋市立香流小学校	実践者	服部 咲 (L)
対象	小学6年生(103名)	時間数	4時間(45分/時間)以上
場所	体育館	実践教科	総合
ねらい	ラオスをきっかけに、途上国と肯定的に出会い、途上国の抱えている課題と先進国との関わりについて学ぶ。そして、先進国に生きる者としてこれからできることを考え、他の国についても関心をもって意欲的に調べ、伝えることができる。		
実践内容	回	プログラム	備考
	1回	【ラオスってどんな国？】 ① ラオスクイズでラオスについて知る。 ② 「ラオスとは〇〇な国」クイズを見たラオスのイメージを発表する。 ③ 発展途上国と先進国について知り、はじめにもったラオスのイメージと途上国を知ってからのラオスのイメージを比較する。	Power point(全体で使用) ポップコーン方式
	2回	【大切なものってなんだろう？】 ① 自分にとって「生きていく上で大切なもの」をグループで共有する。 ② 「生きていく上で大切なもの」が守られること＝「人権」が守られることと結びつける。 ③ 人権が守られないとどうなるかを考える。 ④ 人権が守られていない状態の一つに「貧困」という状態があることを知る。 ⑤ 「貧困」の状態を具体例でイメージする。 ⑥ なぜ「貧困」な状態になるのかを考える。 ⑦ 「貧困＝かわいそう」ということではないことに気付く。	ブレインストーミング 派生図 貧困の輪カード
	3回	【つながっている世界】 ① 身の周りで外国とつながっているものを考え、外国とのつながりが自分たちの生活を作っていることに気付く。 ② 自分たちの生活が途上国とつながり、途上国の貧困を作り出していることに気付く。	ポップコーン方式
	4回	【わたしたちにできること】 ① 途上国の貧困を断ち切るために自分たちにできることを考える。 ② 世界で活躍する日本人の存在や、途上国を支援する団体のことを知り、「できること」の視野を広げる。	ブレインストーミング XY 座標
	5回～	【わたしたちから伝えよう】 自分が興味をもった国や団体について詳しく調べ、発表する。	調べ学習
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちが生活している世界以外に目を向け、視野を広げることができた。 ・ グループや全体で意見を交換することで様々な意見を受け入れ、自分の考えを深めることができた。 ・ 興味をもった国や団体について詳しく調べ、発表することができた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらに学びを深めるためには、年間を通した長期計画が必要。 ・ 他の教職員に対して理解・協力を得ることが必要。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3クラス合同授業を体育館で一斉に実施。 ・ 4～6人のグループを事前に作り、各クラス担任には TT として協力してもらった。 		

[授業実践の詳細]

1 時限目「ラオスってどんな国？」知る

1 子どもの活動の流れ

- ① 授業のめあてを聞く。
…「ラオスの文化から世界の状況を知り、総合のまとめに向けて視野を広げること」がめあてであることを知る。
※ 総合のまとめ…一人一つ国、または国際的な団体を選び、詳しく調べ発表する。
- ② ラオスに関する映像を見る。
…クイズを中心に、ラオスの文化について知る。
- ③ 映像を見て感じた感想や「ラオスとは〇〇な国」あてはまる言葉を発表する。
- ④ 発展途上国と先進国について知る。
…途上国と先進国の定義、分布図、主な国の名前など、いろいろな視点からできるだけ具体的にイメージをする。ラオスは途上国に入り、日本は先進国であることを知る。はじめに受けた国の印象と「途上国」というものを知ってから受けた印象を比較する。

この時限のねらい

ラオスの文化をきっかけに、先進国・発展途上国というものを知る。

2 子どもの活動の成果・反応

◇ ラオスクイズに大変意欲的に参加していた。ラオスの初めの印象は、「自然いっぱい」の国や「食べ物がいっぱい」といったものであった。しかし、「途上国とは何か」ということを知ると、子どもたちは「初めの印象と違ってなんだか大変そうな国だな。」や「貧しい国なのかな？」といった反応を示した。「ラオスという国をもっとよく知りたい。」という意欲が出てきたようであった。

3 使用した教材

<教材1>スライド

クイズ これは何をに入れるものでしょう

- ① 小物
- ② お金
- ③ ご飯
- ④ 夢

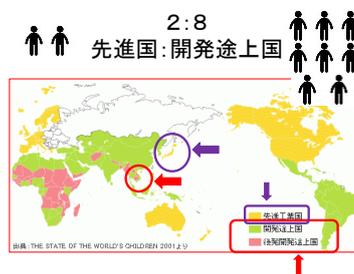


この数字は何を表している？

2:8

8:2

7:3



2

時限目「大切なものってなんだろう？」 考える

1 子どもの活動の流れ

- ① 「どんな国のどんな人でも生きていく上で大切なもの」を考え、グループで考えを共有する。
- ② 「生きていく上で大切なもの」=「人権」と結び付け、人権が守られないとどうなるかを派生図に書き、考える。
- ③ 人権が守られていない状態の一つに「貧困」という状態があることを知り、「貧困」の状態を具体例でイメージする。
- ④ ラオスを含めた多くの途上国がなぜ「貧困」な状態になるのかを「貧困の輪カード」を使い考える。
- ⑤ 大切なものアンケートやスライドから、「貧困=かわいそう」ということではないことを知る。
- ⑥ どうしたら貧困を解決できるのかを考える。

この時限のねらい

自分にとって大切なものとは何かを考え、人権・貧困について考える。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「貧困」な状態を具体例で示すと、今まで楽しそうに活動していた子どもたちの反応が変わった。「本当に貧困な生活を毎日している国があるのか。」や「信じられない。」といった反応が多かった。日本という豊かな国で生まれ育っている子どもたちにとって、「貧困な生活」というものの衝撃は大きかったようだ。子どもたちの価値観を揺さぶり、日本以外の国に目を向けることができたのではないだろうか。
- ◇ 「貧困=かわいそう」ではないことは、ラオスの写真を見て感じる事ができたようだった。授業の後の感想には、「貧しくてもかわいそうではない。幸せってなんだろうと思った。」という言葉があり、幸せについても考えるきっかけとなったようだ。

3 使用した教材

<教材1>スライド



<教材2>派生図「人権が守られないとどうなるか」



<教材3>貧困の輪カード、スライド



4 時限目「わたしたちにできること」築く

1 子どもの活動の流れ

- ① 今までの学習を振り返り、「途上国に対してできること」をブレインストーミングで考える。
- ② 「できること」が書かれたふせんをXY座標(すぐできる、すぐできない、効果大、効果小)に貼っていき、共有する。
- ③ 世界で活躍する日本人の存在や、途上国を支援する団体のことを知り、「できること」の視野を広げる。

この時限のねらい

途上国を支援するためにはどのような取り組みがあるのかを知り、自分たちにもできることを考える。その中で、途上国について調べ、より多くの人に現状を伝えることもできることの一つであることを知る。

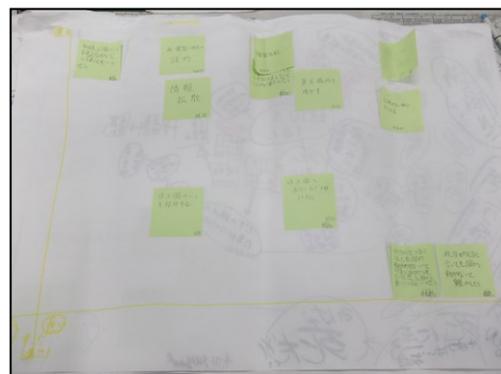
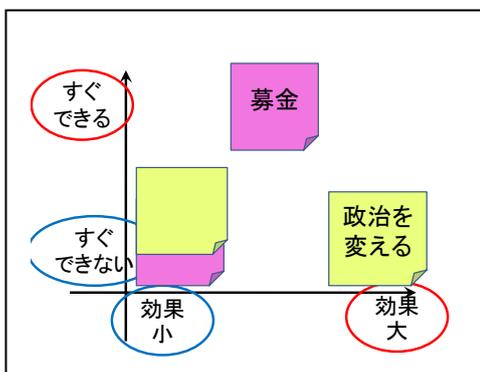
2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 自分たちにできることを出させる場面では、「募金をする」や「寄付をする」といった意見が多く出された。その中で、「国の代表を変える」や「もっと途上国のことを知り、伝える」、「途上国にボランティアに行く」などといった意見も見られ、そのような友だちの意見を新鮮に感じた子どももいたようだ。自分にはない意見を聞くことで新しい視野が生まれることで子どもたち同士の学びにつながったと感じた。
- ◇ 学習後、「途上国のことをもっと調べたい。」や「国際機関のことをもっと調べたい。」といった感想が多く、自分たちの国だけではなく、少しでも世界に目を向けることができた。また、「海外に行ってこの目で見てみたい。」「ボランティアに参加してみたい。」といった感想も見られ、将来のことを考えるきっかけもなった。

3 使用した教材

<教材1>ブレインストーミング「自分たちにできること」

<教材2>XY座標「すぐできる、すぐできない、効果大、効果小」



<教材3>スライド



ラオスで活躍する日本人

青年海外協力隊
本間 唯子さん



5 時限目～「世界に目を向けよう」

1 子どもの活動の流れ

- ① ラオスの授業、社会科で学んだこと、「WORLD MEETS THE クイズ」などを参考に、興味・関心をもった国や国際機関・団体の一つを選び、様々な方法で調べる。
- ② 調べた内容を紙面に表し、発表する。

この時限のねらい

自分たちが興味・関心をもった国や国際機関・団体について調べ、伝える。

2 子どもの活動の成果・反応

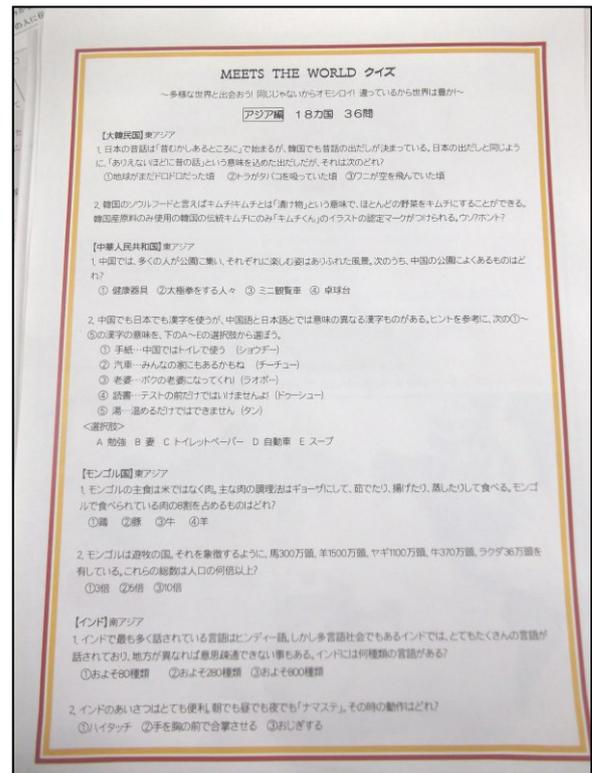
- ◇ ラオスの授業をきっかけに、途上国に興味をもった子や国際機関に興味をもった子が何人かいた。アフリカの難民や貧困について調べたり、国際連合の活動について調べたりと、ラオスの授業を行う前よりも世界に対する視野が広がったのではないかと感じた。

3 使用した教材

<教材1>「世界の地域の分け方」



<教材1>「WORLD MEETS THE クイズ」



■ 全体を通して

1 授業の様子

<写真1>ガイダンスの様子



<写真2>派生図に取り組む様子



<写真3>貧困の輪カードを並べかえている様子



<写真4>XY座標にふせんを貼る様子



2 参考文献・資料

- 1) 「先進国と開発途上国の分布図」…『開発教育・国際理解教育のハンドブック』
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/edu/kyouzai/handbook/html/h40101.html>
- 2) 「WORLD MEETS THE クイズ」…『世界の国を知る 世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来 活用マニュアル Ver.2』公益財団法人愛知県国際交流協会

以上